東日本大震災にあたって透析医療復興支援寄付について

東日本大震災透析医療復興支援に、医療法人財団はまゆう会では日本腎臓財団を通して８０万円の寄付をいたしました。つきましてはその際の日本腎臓財団からのお礼として寄付金の用途、今後の復興経過報告書が送付されましたので下記の通りお知らせ致します。

尚、今後も引き続き支援をしていきたいと思っております。東日本大震災の透析医療の実態は、“臨床透析２０１２，３臨時特集号”で当時の混乱とその後の経過が、それぞれの立場、分野で詳しく報告されています。

平成２４年４月５日

理事長　市丸　喜一郎

平成２４年３月２９日

医療法人財団 はまゆう会　御中 (568)

東京都文京区後楽２－１－１１
公益財団法人　日本腎臓財団
理事長　酒井　紀

東日本大震災　透析医療復興支援について

拝啓　早春の候ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当財団の活動につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今回の震災により被災された透析医療復興支援金募集に際しましては、多大なご寄付を賜り誠にありがとうございました。いただきましたご寄付は、857 件　総額 47,370,421 円に達しました。皆様のご支援、ご協力に対し、改めて心から感謝申し上げます。

本寄付金の使途・配分に関しましては、被災地域三県より使途希望をご提出いただき、それをもとに協力団体、被災地域三県の代表者様、及び当財団で協議を重ね、関連業者様にもご協力をいただきました結果、この度、下記のように決定させていただきました。

なお、いただきました寄付金は全額支援金へ使用し、全ての事務経費は当財団にて負担させていただきました事を申し添えます。

岩手県　・県内透析施設における情報連絡網のためのアマチュア無線の配備
・家庭用血圧計の配布
・『災害時のこころのケア』（書籍）を各施設に配布　11,768,455 円

宮城県　・透析医療情報共有化のための連携ＩＴシステムの構築
・家庭用血圧計の配布
・『災害時のこころのケア』（書籍）を各施設に配布　8,425,976 円

福島県　・県内透析施設における通信手段統一化のための衛星電話とＭＣＡ無線の配備
・透析医療情報共有化のための連携ＩＴシステムの構築
・家庭用血圧計の配布
・『災害時のこころのケア』（書籍）を各施設に配布　27,175,990 円

今後、情報連絡網・通信手段及び情報連携ＩＴシステムの構築は、各県の代表者様のもとで実施されることとなります。また家庭用血圧計と『災害時のこころのケア』（書籍）は逐次各透析施設へお届け致しました。

大変遅くなり恐縮でございますが、ここにご報告申し上げます。

ご協力、誠にありがとうございました。

敬　具